

平成 24 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

施設名	岐阜市東青少年会館	所管課	教育委員会 中央青少年会館
所在地	岐阜市前一色1丁目2-1		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	35,196,000円(4青少年会館一括)		
施設の設置目的	青少年の健全な育成を図り、市民の教養の向上に資する。		
施設概要	研修室1、研修室2、談話室 *長森コミュニティセンターと複合施設		

●利用状況

		H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期	H22 下半期	H22 上半期
利用者数(単位:人)		14,609	12,866	14,132	12,499	11,657
各室稼働状況(%)	研修室1	42.3	39.2	43.7	35.7	30.1
	研修室2	52.5	52.8	53.0	46.6	41.1
	談話室	40.6	37.9	38.0	35.3	30.3

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守	①岐阜市青少年会館条例施行規則に従い、開館日、開館時間を遵守している。
	②適切な人員配置	②事業計画に即し、勤務ローテーション表を使用するなどして、館の管理・運営が支障なく行えるよう計画的に人員を配置している。 また、各館に教員OBや教員資格を有する職員を配置し、その経験や専門性を活かせるよう配慮している。 ・嘱託職員 1名 ・臨時職員 3名(うち教員資格保有者 3名)
	③広報の方策	③事業計画に即し、施設の利用紹介事業開催案内などの情報を、広報誌ふ、館内掲示、チラシ、ホームページ等で広く提供している。
	④苦情への対応	④会館利用者に対してアンケートを実施し、施設への要望や職員の対応など、施設、設備、接客等に対する要望や苦情を的確に把握し、速やかに対応している。 また、職員全員が共通認識を持てるように随時館内会議を開き、利用者側に立ったより良い接客態度の向上に努めている。

<p>指定事業・自主事業</p>	<p>指定事業 ①青少年教育活動の推進</p> <p>②少年講座等の企画、開催、支援</p> <p>③相談業務</p> <p>④空き部屋の利用促進</p> <p>自主事業</p>	<p>指定事業 ①活動拠点支援事業 ・上半期利用状況:利用者数14,609人 利用団体数 637団体</p> <p>②講座事業(夏休み期間中に開催) ・夏期少年講座:10講座開催 参加者83人 ・定期少年講座:2講座開催 参加者85人</p> <p>③相談事業 主に青少年とその保護者を対象とした教育相談 ・上半期相談件数:19件</p> <p>④学習拠点支援事業 小中高生に空き部屋を学習ルームとして提供 ・上半期利用者数:285人</p> <p>自主事業 親子わくわく講座(夏休み期間中に開催) ・1講座(3回連続講座)開催 参加者74人</p>
<p>施設管理</p>	/	
<p>施設修繕</p>	/	
<p>危機管理・法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護</p> <p>②非常時の対応策</p> <p>③関係法令の遵守</p>	<p>① ・個人情報の保護体制について窓口での表示やホームページでの公開を実施。 ・個人情報保護担当者を配置し、文書主任、個人情報保護研修会を開催(4月25日)</p> <p>② ・職員による定期安全点検の実施。 ・緊急連絡網の作成、消防訓練の実施。(6月12日:長森コミュニティーセンター主催に参加) ・防犯研修会の開催。(6月12日) ・医薬品、防災用品(緊急放送ラジオ、職員用ヘルメット・寝袋)の常備。 ・災害時の一時避難所開設準備。(大雨、洪水、暴風雨警報発令時) ・また、「青少年会館危機管理マニュアル」も作成し万一の場合の対応に備えている。 ・さらに、管理職以上の職員は「災害時クイックマニュアル」を常時携帯し、備えている。</p> <p>③関係法令の遵守 ・岐阜市青少年会館条例及び施行規則に則り、「青少年会館業務マニュアル」を作成し、利用上の諸問題やトラブルへの対応について対応策を共通理解し、職員全員が同様の対応ができるよう努めている。</p>

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>①施設利用者アンケート ・全ての施設利用団体に手渡しでアンケートを実施。 ・アンケート質問項目は、「職員の対応について」「施設への要望について」</p> <p>②主催事業参加者アンケート ・講座参加者に手渡しでアンケートを実施。 ・アンケート項目は、「講座を何で知ったか」「講座は楽しかったか」「感想」</p>
----------------------	--

<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>①施設利用者アンケート 「職員の対応について」 305件 満足:94.1% ほぼ満足:5.9% やや不満:0% 不満:0% 「施設への要望について」 305件 ある:0.3% ない:99.7% 【主な意見】 「いつもありがとうございます。」 「親切、丁寧に教えていただきありがとうございます。」 「丁寧に優しく対応してもらえてありがたかったです。良かったです。満足です。」 「便利に利用させてもらいました。」</p> <p>②主催事業参加者アンケート ◆夏期講座 「講座は楽しかったか」 83件 楽しかった:96% 普通:4% 楽しなかった:0% 【主な意見】 「指と粉を使って絵を描くことが面白かった。やってみて上手に出来たので楽しかった。(パステルアート)」 「やったことのない工作で、いろいろ工夫ができて楽しかった。(パステルアート)」 「みんなと仲良く作れたので楽しかった。(遊び塾)」 ◆定期講座 「講座は楽しかったか」 18件 楽しかった:83% 普通:17% 楽しなかった:0% 【主な意見】 「いろんな子と友達になれたし、上達したのでよかった。(卓球)」 「しっかり教えてもらって、7級までいけてよかった。(けん玉)」 「先生たちのおかげでうまくなれたので、公民館で卓球を続けたいです。(卓球)」</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対応・改善</p>	<p>利用者から寄せられた意見等に対して、軽微な要望、修理、改修等については職員で即日対応するほか、業者対応を要するものについては見積もりを依頼し、後日対応している。 また、大規模な修理、工事に関しては、施設全体を管理する長森コミュニティセンターの指定管理者に連絡。 【主な意見と対応】 「室外の音がよく聞こえる」⇒ 子供を含む他団体が別室で活動しており、ローカでも話をしていたためその音が室内にまで聞こえていたらしい。今後そういった団体があれば注意を促すように職員間で確認。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	I 住民の平等利用が確保されること	(1)『住民の平等利用が確保されること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	条例・施行規則を遵守して、公共施設の設置目的に則って、全ての住民が公平・平等な条件でサービスを受けることができるか。	A	A	A
		(2)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	年少者から高齢者、障がい者など幅広い層に、要望、改善点についての意見を聞き、これをもとに協議して、円滑で公正な施設運営に努めているか。	A	A	A
		(3)情報公開、広報の方策	③利用規程、主催事業案内、活動内容等をパンフレットやホームページ、広報誌等に掲載し、情報提供を図っているか。	A	B	A
		(4)個人情報を保護するための方策	個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	A	A	A
		(5)その他指定管理者の提案によるもの				
区分評価						A

効果性	II 事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(1)『事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	岐阜市教育委員会との連携を密にし、施策を実現し、その一翼を担うため、岐阜市の人づくり、街づくりに貢献すべく取り組んでいるか。	A	A	A
		(2)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	各種講座の充実・拡大、相談室の開設により青少年の健全育成に寄与しているか。	S	S	S
		(3)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方針など	利用者・講座受講生に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。	A	A	A
		(4)利用者に対するサービス向上の方策	講座受講生や利用団体に対しアンケートを実施し、要望や満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしているか。	S	S	S
		(5)利用促進、利用者増の方策	施設紹介や主催事業のPR活動とともに、新規の事業開拓に努め、利用拡大を図っているか。	S	A	A
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	青少年会館の設置目的を踏まえつつ効率の良い施設管理を行うために、管理及び運営にバランスのとれた人材を配置しているか。	A	A	A
		(7)その他指定管理者の提案によるもの				
	区分評価					A
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	III 事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	(1)『事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	設置目的や安全性、利便性を維持しつつ効率的運用を図り、管理経費削減に努めているか。	A	A	A
		(2)指定管理経費の設定額	収支予算書との妥当性はどうか。	A	A	A
		(3)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービスを低下することなく、コストの縮減に努めているか。	A	A	A
		(4)管理経費縮減の具体的方策	安定性・安全性を損なわない範囲で、具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	A	A	A
		(5)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当や勤務時間を工夫し、より効率よく業務ができるように配置しているか。	S	A	A
		(6)その他指定管理者の提案によるもの				
	区分評価					A

安定性 安全性	IV事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1)『事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	教育文化施設を管理運営するために、その事業の運営に適した人材の採用と専門性を有するスタッフの育成に取り組んでいるか。	A	A	A
		(2)当該公の施設に類似あるいは関連する事業、業務などの実績	類似施設等の管理実績を参考にしているか。	A	A	A
		(3)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	各職員の専門知識や経験が職務分担に活かされているか。	S	S	S
		(4)スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができているか。	A	A	A
		(5)スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	各種職員研修会を行い、職員の資質向上を目的とした研修計画書が作成されているか。	A	A	A
		(6)リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)及び対応能力(資金力、損害賠償能力など)	夜間防犯対策・安全点検・館内外の巡回・日常清掃・消防訓練等を実施しているか。また緊急事態における対応が確認されているか。	A	A	A
		(7)学校及び教育委員会との連携や青少年団体等への支援	学校や教育委員会との連携事業や青少年団体、青少年育成団体への支援や協力を実施しているか。	A	A	A
		(8)その他指定管理者の提案によるもの				
	区分評価					A
貢献性	V事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下、地元という。)の法人その他の団体の育成	地元の法人や青少年団体、ボランティア組織等との連携に努めるとともに、その育成に取り組んでいるか。	A	A	A
		(2)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元の住民等の雇用に留意しているか。	A	A	A
		(3)地元での資材等の調達	資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意しているか。	A	A	A
		(4)地元での社会活動等への参加	地元で実施される社会活動等への積極的な参加に努めているか。	A	A	A
		(5)その他指定管理者の提案によるもの				
	区分評価					A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>○講座事業 ・講座内容の充実に重点を置き、子どもたちの興味関心を活かして高い満足度が得られるよう常に意識をして企画。受講者アンケートで非常に高い満足度を獲得しており、魅力ある講座の開催を実現している。 ・新しい内容の講座も開催し、子どもたちの興味関心を刺激する工夫もしている。 ・職員自らが講師となる講座を企画、実行し、講師謝金の経費縮減も達成。 ・指定事業である「少年講座」の他に自主事業として「親子わくわく講座」を開催し、講座の幅を広げることで利用の拡大を図ることもできた。</p> <p>○相談事業 ・教員OB職員の専門性や経験を生かし、身近な相談場所として青少年の支援をすることで地域に貢献しているといえる。</p> <p>○活動拠点支援事業 ・同居する施設の定期刊行物に利用紹介の記事を掲載することで定期利用の団体が増え、昨年度同時期と比較して利用人数・利用団体数をともに大きく増加させることができた。</p> <p>○その他 ・職員全員が親身で丁寧な対応を心がけていることで、利用者アンケートでは「職員の対応」について「満足・ほぼ満足」で100パーセントという高い評価を獲得。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>・各評価項目の具体的要求水準を意識し、達成できるよう管理運営に努めている。</p> <p>・施設利用者や主催講座受講者に対してアンケートを実施し、館を利用する方の意見、要望、苦情に適切に対応しサービスの向上に役立てるよう引き続き取り組んでいる。</p> <p>・地域の青少年の健全育成に貢献するため、教員OBや資格を持った職員の専門性を活かし、講座事業、相談事業、学習拠点支援事業、活動拠点支援事業の4つの事業を柱に管理・運営にあたっている。</p> <p>・月1回の館長会のほか必要に応じて連絡を取り合い、4つの館で講師情報や講座内容等について共有し、改善に努めている。</p> <p>・地域の青年層、一般層にも利用していただけるよう、定期刊行物に利用紹介の記事を掲載し、利用促進・拡大への取り組みを続けている。</p> <p>・親子のコミュニケーション作りや親同士のネットワーク作りを目的に始めた講座は、内容の改善を行うことで利用者の増加に結びついた。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>・ドリームシアター岐阜や岐阜市少年自然の家など同じ事業団内の他施設と連携し、その職員が持つ専門性、ノウハウを生かした講座の開催。</p>

●所管課の意見

・情報公開、広報の方策について、講座の案内チラシを近隣地域の回覧板に載せる等地道な努力は認めるものの、今期多くの講座が定員割れの結果となり、満足いく実績を残しているといい難い。ホームページ等の有効活用についても研究されたい。

・前年同期との比較において、青年層の利用者数が微増となっており、地域の青少年育成団体の活動拠点として継続利用されている実情を反映している。今後ともブロックの青少年活動拠点として、子ども会や青少年育成市民会議等への支援に留意されたい。

・利用団体、講座受講生へのアンケートを実施し、要望や満足度を調査し事業展開や職員の接遇等に活かしており、利用者の満足度は極めて高い結果となっている。利用者に対するサービス向上において、会館職員をはじめとする指定管理者のたゆまぬ努力を評価したい。

●指定管理者評価委員会の意見

・情報公開、広報の方策について、主催講座の周知の遅れ等の要因から十分な実績を上げられなかったことは残念であるが、会館全体の利用者数は順調に増加しており、利用拡大の面で効果があったと認められる。

・各評価区分及び評価項目について具体的な要求水準を満たしていると認める。